

環境未来都市の評価手法等の検討について

1. 概要

選定された「環境未来都市」の目標の達成状況を評価するため、3つの価値創造を視点に入れた総合的な評価手法が必要となっている。そこで、環境未来都市評価手法等検討会を設置し、環境未来都市の評価指標及び評価手法について、総合的な検討を行うものとする。

2. 環境未来都市評価手法等検討会 メンバー

(敬称略・五十音順)

秋山 弘子	東京大学高齢社会総合研究機構特任教授
竹ヶ原啓介	株式会社日本政策投資銀行環境・CSR 部長
藤田 壮	東洋大学大学院工学研究科特任教授
星 旦二	首都大学東京都市環境学部教授
村上 周三	一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長

3. 今後の進め方

<平成23年3月>

- 第1回環境未来都市評価手法等検討会開催

<平成24年5月末まで>

- 論点及び既存評価手法の整理の方向性に関する委員からの意見を集約・再整理し、評価手法が備えるべき性質を記した骨子を作成

<平成24年6月>

- 第2回評価手法等検討会を開催し、骨子に対する意見交換

<平成24年6月～9月>

- 上記で提示した評価手法の骨子に基づき、既存の評価手法を整理。整理状況を検討会にて報告し、評価手法等(案)をとりまとめ。

<平成24年9月～12月>

- 各環境未来都市に評価手法等(案)を適用しながら、具体的な課題抽出、解決方策を検討し、さらに環境未来都市からの意見も聴取しつつ修正を行い、平成24年12月までに評価手法等を取りまとめる。

<平成24年度末>

- 環境未来都市の平成24年度フォローアップ時に新たな評価手法等を適用し、次年度に向けた取組の足掛かりとする。